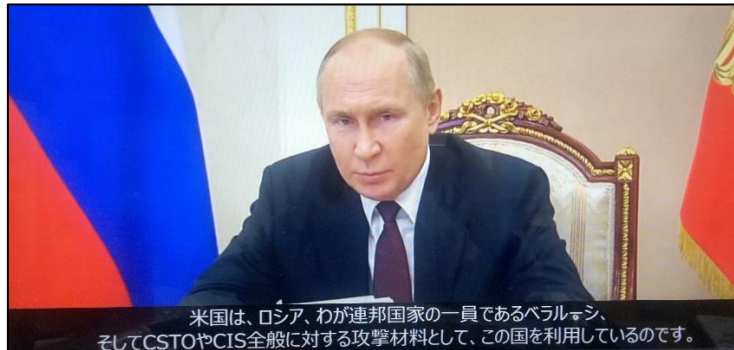


## 10月28日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●プーチン大統領、CIS 安全保障・情報機関長協議会セッション・フルスピーチ(2022年10月26日) 日本語字幕付き

<https://www.youtube.com/watch?v=DVf-GIRiHdI>



### ●プロパガンダ戦争—私たちは何を見せられ、何を語られてきたのか(2022年10月30日)

※安齋注:この戦争の汚い性格を理解するために役立つでしょう。日本語字幕付き。

<https://youtu.be/4hdgX6vWGoU>



### ●バーニー・エクレストンのコメント(2022年10月30日)

Good Morning Britain の番組で、F1 レース責任者バーニー・エクレストンが「プーチン大統領のためなら銃弾も辞さない、彼は一流の男だ。自分の国のために最善と思うことをしている」と述べた。エクレストンはロシアのリーダーを擁護するだけでなくゼレンスキーをピエロ、コメディアンと呼んで厳しく批判。



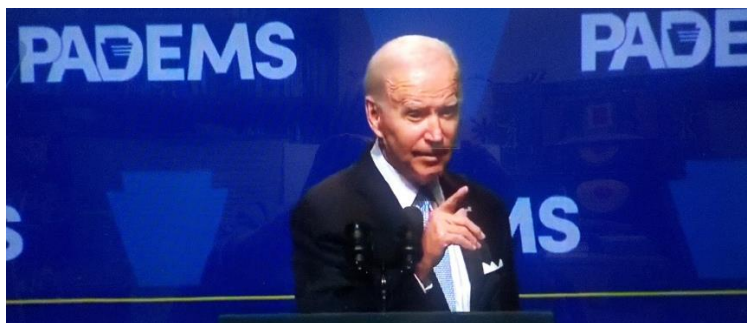
※安齋注:バーニーは7月にも同趣旨の発言をし、当「ウクライナ情報」でも紹介した。実は、この番組スタッフは、後に「レース長(バーニー)の意見はチャンネルの方針にそぐわない」と指摘した上で、正当性を主張する文書を発表する羽目になったという。バーナード・チャールズ “バーニー”・エクレストン(92歳)は、イギリス出身の実業家で、元レーシングドライバー。

## ●アメリカの州は54州?(2022年10月30日)

投稿者のコメント:バイデン大統領が、アメリカの州の数を50ではなく「54」と数えたことで、評論家から揶揄されたと報じられている。多分、ウクライナと、米軍の駐留人数が多いドイツ・日本・韓国をカウントしているとか?

<https://twitter.com/tobimono2/status/1586557621628125184?t=PANYJOLCY1ymcanRkcSdGQ&s=09>

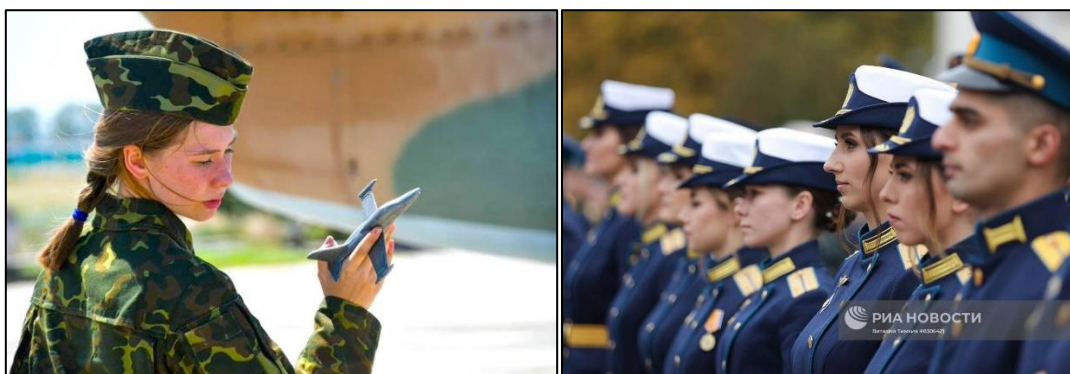
※安齋注:単なる認知能力の減退でしょうが、かつてオバマ大統領が52と数えたときからさらに2州増えた。上院の定員が各州2議席×50州=100議席で、いま中間選挙で過半数をめぐる争っている最中なのに、こういう間違いをするのはやはり「認知能力に問題なしとしない」かな。大した問題ではなさそうだが、世界中で100万人以上がこの情報を見ているので、一応紹介しておきます。



## ●ロシア軍、女性パイロットが卒業(2022年10月29日)

ロシア国防省は、クラスノダール・セロフ高等軍事航空学校から初の女性パイロットが卒業したことを明らかにした。ショイグ国防相は、その半数以上が優秀な成績で卒業したと述べた。

<https://twitter.com/tobimono2/status/1586332969932685312?t=-743QgIIN KcRXbVhgmZ7w&s=09>



## ●ウクライナ人はこの冬「凍死」する可能性がある - キーウ市長(2022年10月30日)

災害を回避するために、ヴィタリー・クリチコは西側諸国に毛布と防寒着を緊急に送るよう要する。キーウのヴィタリー・クリチコ市長は金曜日、英国のメディアに対し、ウクライナのエネルギーインフ

ラに対するロシアの空爆により、西側諸国が差し迫った危機に対処するのを助けなければ、今後数ヶ月で多くのウクライナ人が「凍死」する可能性がある」と語った。

元ヘビー級ボクシングチャンピオンのクリチコは、デイリー・テレグラフの取材に対し、ウクライナが大きな課題に直面することを認めた。

「私たちは人々の命を救い、彼らを守るためにできる限りのことをしています」と市長はアウトレットに語った。

当局者は、彼が「最悪のシナリオ」と呼ぶものを見越して、彼のチームはキーウで 1,000 の移動式加熱ポイントを準備しながら、なんとか多くの発電機を調達することができた」と述べた。

クリチコは、ウクライナが西側の兵器と防空システムだけでなく、毛布、防寒着、発電機も緊急に必要としていると合図した。

「今はこの種の支援にとって重要な時期です」と彼は強調しました。

「人道的問題のリスク」を挙げて、彼はまた、国を逃れたウクライナ人に、可能であればこの冬に近づかないように促した。「しかし、私たちの主な目標は国民を取り戻すことです。ウクライナの最大の価値は、私たちの市民と人々です」と彼は付け加えた。

市長のコメントは、ウクライナのイリーナ・ヴェレシチュク副首相の以前の発言を反映している。今週、彼女は、ロシアの軍事攻撃の開始後に国を離れたウクライナ人に対し、モスクワのエネルギーインフラに対するストライキのため、春までに帰国しないよう呼び掛けた。

一方、国営のエネルギー大手 Naftogaz のトップである ユーリ・ヴィトレンコ(Yuri Vitrenko) は、ロシアの空爆により「発電所の約 40%」が破壊されたと主張しながら、ウクライナはかつてないほど厳しい冬に直面していると市民に警告した。

ウクライナは、戦略的なクリミア橋を含むロシアのインフラストラクチャに対するテロ攻撃でキーウを非難した後、モスクワが 10 月 10 日に発電所を含むエネルギー施設に対して大規模なストライキを開始して以来、定期的な停電を経験している。

人道的災害を回避する試みとして、EU は先週、ウクライナのための新しい緊急シェルターと防寒施設プログラムを発表し、ウクライナの人口の最も脆弱な部分に追加で 1 億 7,500 万ユーロ (1 億 7,400 万ドル) の人道支援を提供することを約束しました。

今月初め、ウクライナの最大の国際支援国である米国は、5,500 万ドルの緊急支援でキーウを支援することを約束した。このパッケージには、暖房インフラへの投資、発電機の調達、およびウクライナ人を暖かく保つためのその他の手段が含まれている。



## ●欧州は米国の扇動で自滅している(独立系メディア E-wave Tokyo、2022年10月30日)

<http://eritokyo.jp/independent/Ukraine-war-situation-aow1817.htm?s=09>

スペインのパン屋は抗議した。彼らは当局の注意を自分たちの窮状に向けさせようとしている。

第三次世界大戦が実際に始まっており、壊滅的なショックが世界経済を待っている、とアメリカの経済学者ヌーリエル・ルビーニは警告している。

英国の11の都市で開催された「母親の行進(March of Mothers)」には、子供を持つ何千人もの親が参加した。彼らは、生活費の急激な上昇を背景に、政府が財政支援を提供することを要求している。

スペインのパン屋の明かりが消える。全国のパン屋が抗議行動を起こし、15分間仕事を中断した。

「私たちのビジネスの状況は危機的です。小麦粉などの原材料の価格が80%上昇しました。バター、牛乳、卵でも同じことが起こりました」とベーカリーのオーナー、モニカ・グレゴリーは言う。

「光がなければ、パンはありません」と呼ばれる行動で、パン屋は彼らの窮状に当局の注意を引こうとしている。ほとんどのバイヤーは抗議を支持している。

第三次世界大戦が実際に始まっており、世界経済は壊滅的な大変動に直面していると、2008年の金融危機を予測したアメリカの経済学者のリエル・ルビーニ(Nouriel Roubini)は警告している。

ルービーニは、ドイツの雑誌デア・シュピーゲル(Der Spiegel)とのインタビューで、国際通貨基金(IMF)の前の会議で、1970年代のような戦争ではなく、社会が経済危機に陥れば世界は幸運になるだろうと言ったと語った。

1940年代。そのエコノミストによると、中央銀行はインフレに対処できない。金利を引き上げ、实体经济と金融市場にハードランディングを引き起こすものもある。他の人は待つことを試みているが、それは価格の上昇を加速させるだけだ。

ロンドンの慈善団体に無料の食べ物を受け取った人の数は、ここ数か月で3倍になった。その理由は、エネルギー価格の上昇による生活水準の低下である。平均して、英国の家族の支払い費用は、2021年10月と比較してほぼ2倍になっている。

「無料の食事を求めてやってくる人々の数は劇的に増加しました。彼らは選択を迫られています。ガスや電気の料金を支払うか、定期的に温かい食事を作るかです」と慈善団体の創設者であるソロモン・スミスは言う。

ドイツ人の約3分の2は、関税が高すぎるために節電を始めました。これらは、最新の社会学的調査の結果である。回答者の16%は休暇を取る余裕がない。国民の半数以上がクリスマスプレゼントの予算削減を余儀なくされている。また、12%はまったく購入できない。回答者の57%が、国内のインフレ率が主な脅威であると考えている。ウクライナでの紛争を心配している人は3分の1である。

ますます多くのドイツ人が街頭に出て抗議している。そしてドイツ軍は、シュルツ政権に対し、ウクライナへの武器の送り込みをやめるよう要請している。ドイツ自体の防衛能力が脅威にさらされている。ドイツ連邦国防軍の現役旅団は、1つも人員を十分に配置していない。政府が首相の約束をどのように履行するのか、誰も理解していない。3年以内に新しい部門を作成して近代的な武器を装備するということだ。

ドイツ連邦国防軍会長のアンドレ・ヴュストナー大佐は、「ドイツ連邦国防軍は、新たな資源が投入されるよりも多くの資源が軍隊から離れているため、急速に崩壊している」と。

10月、ほぼ80年ぶりに、米国はその最も有能な部隊の1つである第101スクリーミングイーグル空挺師団をヨーロッパに配備した。その司令部の代表であるジョン・ルバス准将は、最も訓練されたアメリカ兵が「ウクライナの領土に入る」準備ができていると発表した。

同時に、アドリア海では、空母 USS ジョージ HW ブッシュが率いる NATO 船のグループが、ロシア国境への戦闘機による空爆を練習している。アメリカの軍事専門家は、バイデンが危険な線に近づいていると警告している。

「ウクライナとロシアの紛争は、アメリカの国家安全保障を決して脅かすものではない。言い換えれば、愚かさや無謀さによって、私たち自身がロシアとの直接の対立に巻き込まれ、側で紛争に巻き込まれない限り、私たちは安全である。ウクライナの、どのような脅威が、ヨーロッパでの私たちの軍隊の数を第二次世界大戦以来初めての 10 万人にまで引き上げ、この地域に空母グループの船を派遣したのか？ これは明らかに準備のように見える。ロシアとの戦争のために」と、退役米陸軍中佐のダニエル・デイビスは言う。

一方、欧州も米国も、エスカレーションの目的の1つがロシアの資源の押収であるという事実を隠していない。欧州司法委員のディディエレインダースは、ロシアがウクライナの復興に参加するまで、ヨーロッパの口座に凍結されている 3000 億ユーロをロシアに返さないことを提案した。

また、欧州委員会のウルズラ・フォン・デア・ライエン委員長は、資産の没収がブリュッセルの目標であると指摘した。欧州連合では、現在の法律では、単にすべてを手にとって拾うことがまだ許可されていないことを残念に思っている。



## ●親を亡くしたマリウポリの子どもたち(2022年 10 月30日)

両親を失い心身共に傷ついた子供達の収容施設に、10 日ごとに人道支援物資を運ぶボランティア。7 歳のディマ君の両親は彼に覆いかぶさりUA軍からの砲撃から息子を守って亡くなった。

●日本からの支援金はこの子達には 1 銭も届かない、●マリウポリを破壊したのはウクライナ

<https://twitter.com/PMed64293572/status/1586541300047749121?s=20&t=3mt9wiWG5i38z1rEYcbwKw>



## ●ロシアの最貧国への穀物供給(2022年10月30日)

ロシアは、今後 4 か月で最大 50 万トンの穀物を最貧国に無償で供給する準備ができている -  
ロシアの農業大臣ドミトリー・パトルシェフ

<https://twitter.com/syuugoro2/status/1586563833178468352?t=UQzbfELuZ3N2b8kAabXJvA&s=09>



## ●アメリカによるゼレンスキーの扱い方(フランス VA、2022年10月29日)

アメリカはロシアとの妥協でゼレンスキーを追い出す。

ウクライナを取り巻く状況は、ワシントンにとってあまりにも危険になっており、一刻も早くそこから抜け出すために、アメリカは Volodymyr Zelenskyy を犠牲にする用意があると、フランスの出版社 VA は書いている。

記事の著者によれば、ゼレンスキーはアメリカにとって重荷になっており、彼をコントロールすることはますます困難になっている。その上、彼はすでに「血まみれの挑発者」という意図した役割を果たし、今や彼の政治的将来だけでなく、彼の人生そのものが問題になっているのだ。

「世界的な妥協が目前に迫った時、ゼレンスキーは犠牲になる可能性がある」と記事は言っている。この状況を打開する唯一の方法は、モスクワとワシントンの間の交渉だと著者は言う。

ゼレンスキーは自分が主導権を握っていると思っているが、実際は国際情勢における交渉の材料に過ぎない。



## ●DPR の住民は、ロシア加盟協定の調印式をモニターで見ながら歴史的な日を祝う(再送、4週間前=2022年9月30日)

※安齋注:これが「侵略された人々」の表情かどうか、見ればわかるでしょう。「解放された人々」の顔です。

<https://www.youtube.com/watch?v=Q2-4PHxcd-w&list=PLlesZ19Vj2HF1U1aVajCgRdIcDBMPCi4v&index=4>



## ●タッカー・カールソン番組にトゥルシー・ギャバードが出演(2022年10月29日)

下院のリベラル派 30 人のグループがバイデン大統領に対し、ウクライナ戦争に関する戦略を劇的に転換し、ロシアとの直接交渉を追求するよう求めており、自党の著名議員がウクライナへのアプローチを変更するよう求めたのは初めてのことである。

このグループが月曜日にホワイトハウスに送った書簡は、ワシントン・ポスト紙が最初に報じたもので、バイデン氏が戦争努力に対する国内の支持を維持しようとする中で、バイデン氏への圧力が強まる可能性がある。この地域は厳しい冬を迎える可能性があり、共和党は議会を奪還したらウクライナへの援助を削減すると脅している時なのだ。

この書簡では、議会進歩的議員連盟の議長であるプラミラ・ジャヤパル議員(ワシントン州選出)が率いる 30 人の民主党議員が、バイデンに対し、米国がウクライナに提供している前例のない経済・軍事支援と「積極的な外交的後押し、停戦のための現実的枠組みを求める努力を倍加させる」ことを要求している。

民主党は特に、数千人の死者と 1300 万人の避難民を出した長引く戦争を終わらせる努力の一環として、米国がロシアと定期的な対話を行っていないことを懸念している。バイデン政権は、ロシアといつ交渉するかはキエフ次第だと強弁し、自由民としてのウクライナ人が自分たちの運命を決めるべきだとしている。

多くの民主党議員がこの書簡に激しく反発したため、Jayapal 氏は月曜日に声明を出し、書簡に書かれた進歩派の立場を「明確化」し、ウクライナとバイデン氏がウクライナの将来について話し合う際に、ウクライナ代表を確保するという約束を支持していることを強調した。

「私たちは民主党として、違法かつ非道なロシアの侵略に直面しながらも、民主主義と自由のために戦うウクライナを支持するという明確な約束で一致している」と Jayapal は言った。「外交は命を救うことができる重要な手段であるが、それは一つの手段に過ぎない。

<https://www.youtube.com/watch?v=Wzilcxs1fVk> 日本語字幕あり

